LIFESTYLE® 235/135
HOME ENTERTAINMENT SYSTEMS
LIFESTYLE® V35/V25
HOME ENTERTAINMENT SYSTEMS
LIFESTYLE® T20/T10
HOME THEATER SYSTEMS

②操作ガイド

2012 Bose Corporation, The Mountain,
Framingham, MA 01701-9168 USA
AM348154 Rev 00

安全上の留意項目

このガイドは必ずお読みください。

ガイドの指示に注意して、慎重に従ってください。ご購入いただいたシステムを正しくセットアップして操作し、機能を十分にご活用いただくために役立ちます。また、必要なときにすぐにご覧になれるように大切に保管しておくことをおすすめします。

ボーズ製品をご使用いただく際は、必ず地域と業界指導の安全基準に従ってください。

正三角形に矢印付き稲妻マークが入った表示は、製品内部に電圧の高い危険な部分があり、感電の原因となる可能性があることをお客様に警告するものです。

正三角形に感嘆符が入った表示は、製品本体にも表示されている通り、この取扱説明書の中で、取り扱い上およびメンテナンス上、重要な項目であることをお客様に警告するものです。

警告：

- 火災や感電を避けるため、製品を雨にあてたり、湿度のある場所で使用しないでください。
- 水漏れやしぶきがかかるような場所でこの製品を使用しないでください。また、花瓶などの液体が入った物品を製品の上や近くに置かないでください。他の電気製品と同様、システム内に液体が侵入しないように注意してください。液体が侵入すると、故障や火災の原因となることがあります。
- 火の付いたろうそくなどの火気を製品の上や近くに置かないでください。
- のどに詰まりやすい小さな部品が含まれています。3 歳未満のお子様には適していません。

注意：

- システムまたはアクセサリーを改造しないでください。許可なく製品を改造すると、システムの安全性と性能が損なわれるだけではなく、法令遵守の問題が生じ、製品保証が無効となる場合があります。
- 大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。ヘッドホンを長時間使用する場合は、過度な音量を避けるようにしてください。

注記：

- 万一の事故や故障に備えるために、電源プラグはよく見えて容易に手が届く位置にあるコンセントに接続してください。
- この製品は室内専用です。屋外、RV 車内、船上で使用するようには設計されていません。また、このような使用環境におけるテストも行われていません。
- 製品に付属している電源アダプターを使用してください。
- 製品ラベルは本体の底または裏面にあります。
- 付属のケーブル類は、壁内や天井裏、床下等の隠ぺい配線用ではありません。隠ぺい配線を行う際は、お住まいの地域の法令等に準拠したケーブルや施工法をご確認ください。詳しくは専門の施工業者にご相談ください。

使用済みの電池は、お住まいの地域の条例に従って正しく処分してください。焼却しないでください。

その他のご注意

その他の注意事項については、同梱の『安全上の重要なご注意』シートをご参照ください(北米のみ)。

Bose Corporation hereby declares that this product is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of the Directive 1999/5/EC and other applicable Directives. The completeDeclaration of the Conformity can be found at: www.Bose.com/compliance

注記

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not ins talled and used in ac cordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, you are encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment to an outlet on a different circuit than the one to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Changes or modifications not expressly approved by Bose Corporation could void the user's authority to operate this equipment.

These devices comply with FCC and Industry Canada RF radiation exposure limits set forth for the general population. They must not be co-located or be operating in conjunction with any other antennas or transmitters.

These devices comply with Industry Canada license-exempt RSS standard(s). Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation of the device.

135 スピーカーアレイの電磁波出力 : 6 mW @ 2406-2474 MHz

135Acoustimass® モジュールの電磁波出力 : 2 mW @ 2406-2474 MHz

この製品は、Universal Electronics Inc. のライセンスに基づき、UEI® Technology™ を使用して設計されています。©UEI 2000-2011.

HDMI™ および HDMI のロゴは HDMI Licensing, LLC の米国および他の国々における商標または登録商標です。

iPhone、iPod、iPod classic、iPod nano、および iPod touch は Apple Inc.の商標で、アメリカ合衆国および他の国々で登録されています。

Xbox は Microsoft Corporation の商標です。

TiVo は TiVo, Inc.またはその関連会社の商標です。

その他の商標は所有権を保持する各社に帰属します。

Names and Contents of Toxic or Hazardous Substances or Elements

Part Name	Toxic or Hazardous Substances and Elements					
	Lead (Pb)	Mercury (Hg)	Cadmium (Cd)	Hexavalent (CR(VI))	Polybrominated Biphenyl (PBB)	Polybrominated diphenylether (PBDE)
PCBs	X	0	0	0	0	0
Metal parts	X	0	0	0	0	0
Plastic parts	0	0	0	0	0	0
Speakers	X	0	0	0	0	0
Cables	X	0	0	0	0	0

0: Indicates that this toxic or hazardous substance contained in all of the homogeneous materials for this part is below the limit requirement in SJ/T 11363-2006.

X: Indicates that this toxic or hazardous substance contained in at least one of the homogeneous materials used for this part is above the limit requirement in SJ/T 11363-2006.

DOLBY TRUEHD

この製品は Dolby Laboratories のライセンスに基づいて製造されています。
Dolby およびダブル D マークは Dolby Laboratories の登録商標です。

適用製品：

- **LIFESTYLE® V25/V35 ホームエンターテイメントシステム**
- **LIFESTYLE® T10/T20 ホームシアターシステム**

この製品は、米国特許番号 5,956,674; 5,974,380; 6,487,535、および取得済みまたは出願中の他の米国特許および国際特許に基づき、ライセンスの下で製造されています。DTS とそのシンボル、および DTS とシンボルを組み合わせたロゴは DTS, Inc. の登録商標であり、DTS Digital Surround および DTS のロゴは同社の商標です。製品にはソフトウェアが含まれています。

適用製品：

- **LIFESTYLE® 135/235 ホームエンターテイメントシステム**

この製品は、米国特許番号 : 5,956,674、5,974,380、6,487,535、および取得済みまたは出願中の他の国際特許に基づき、ライセンスの下で製造されています。DTS、DTS のシンボル、および DTS と DTS シンボルを組み合わせたロゴは DTS, Inc. の登録商標であり、DTS のロゴは同社の商標です。製品にはソフトウェアが含まれています。

適用製品：

- **LIFESTYLE® V25/V35/135/235 ホームエンターテイメントシステム**

Made for iPod iPhone

「Made for iPod」および「Made for iPhone」とは、それぞれ iPod あるいは iPhone 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリーであることを示します。アップルは、本製品の機能、安全、および規格への適合について、一切の責任を負いません。iPod、または iPhone でこのアクセサリーを使用すると、無線通信の性能に影響する場合があります。

対応製品：

iPod touch (第 1、第 2、第 3、第 4 世代)
iPod nano (第 3、第 4、第 5、第 6 世代)
iPod classic
iPod with video
iPhone 4
iPhone 3GS
iPhone 3G
iPhone

控えとして、システムのシリアル番号を下の欄にご記入ください。

LIFESTYLE® のモデル : ______________________________

コンソールのシリアル番号(本体底面に記載): ______________________

スピーカーアレイのシリアル番号
(LS135 system のみ。本体底面に記載): ______________________

Acoustimass® モジュールのシリアル番号(本体裏面に記載): ____________

目次

はじめに

Bose® LIFESTYLE® system をご購入いただき、ありがとうございます。エレガントなデザインで最高の音響パフォーマンスをご提供する Lifestyle system で、充実したホームシアター体験を存分にお楽しみください。

本機に搭載された UNIFY® テクノロジーが、画面上の指示を通して周辺機器の接続・設定方法を皆さまにご案内いたします。また、ご使用になるお部屋のリスニング環境を最適なものに調整する自動音場補正システム ADAPTiQ® も搭載されています。

この「②操作ガイド」ではリモコンの機能と、システムおよび外部機器の操作方法についてご説明いたします。システムのご購入時は、まず別冊の「①設置ガイド」からお読みください。

システムの特長

全システムに共通：

- 機器の接続が簡単に行える UNIFY テクノロジー
- 3D 映像機能 *
- お部屋を最適なリスニング環境に調整する自動音場補正システム「ADAPTiQ®」
- RF(電波式)リモコン
- HDMI™ 接続
- ビデオアップスケーリング機能(最大 1,080p)
- USB ドライブに保存された写真の表示

* 3D 映像をお楽しみいただくには、3D 対応のテレビと、3D 対応の Blu-ray Disc™プレーヤー、ゲーム機、ケーブルテレビチューナーなどの機器を、LIFESTYLE® system に接続する必要があります。

235/135 および V35/V25 system のみの追加機能：

- iPod および iPhone 対応のインターフェイスとドック
- AM/FM ラジオ
- 最大 14 か所まで音声を配信・操作する機能(日本仕様非対応)

困ったときは

操作でトラブルが発生した場合は、24 ページの「故障かな？と思ったら」をご確認ください。一般的な操作に関するトラブルを解決するには、このページの情報が役立ちます。製品のトラブル解決や修理についての詳細は、ボーズ株式会社ユーザーサポートセンターにお問い合わせください。

重要：製品のユーザー登録をお願いいたします。

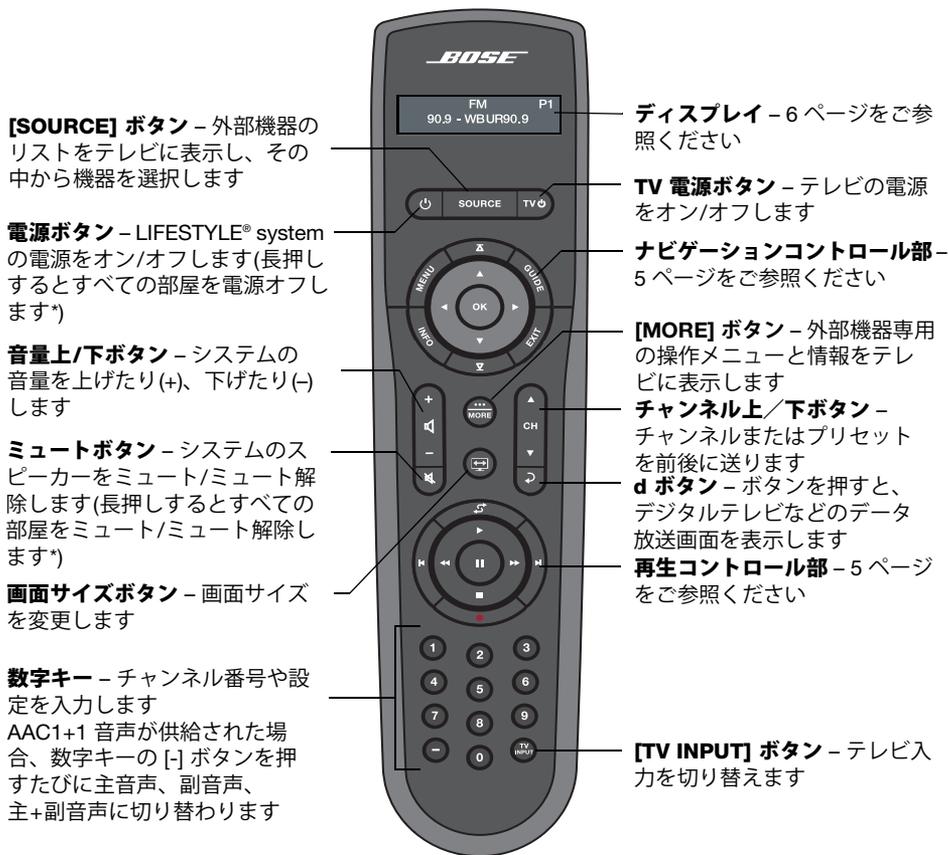
製品をご登録いただきますと、システムを常に最適なパフォーマンスに保つためのソフトウェアアップデートに関する情報をお知らせいたします。また、ボーズ社の新製品およびキャンペーンに関する情報もお伝えいたします。

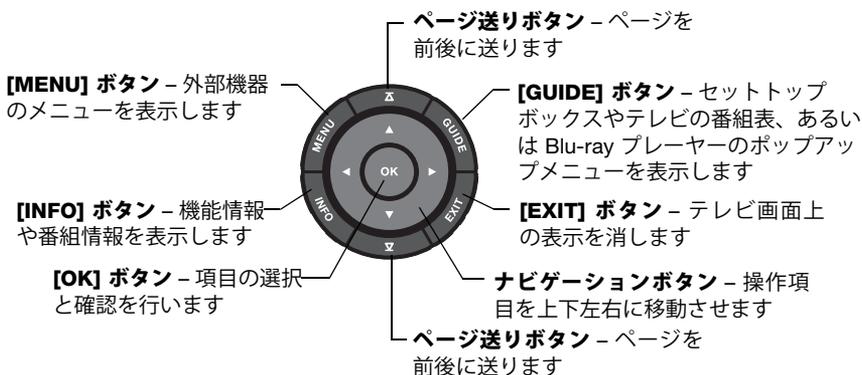
登録の手順につきましては、製品登録カードをご参照ください。製品を登録されない場合でも、保証の内容やシステムソフトウェアのアップデートに関する権利に変更はありません。

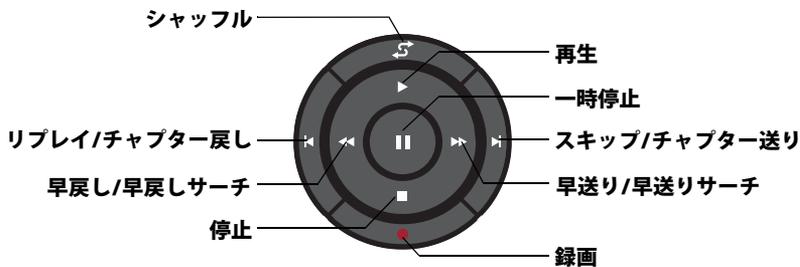
リモコン/コンソールの機能および表示部

リモコン

リモコンを使用する

この電波式リモコンは、室内のどこからでもコンソールを操作することができます。リモコンをコンソールに向けて操作する必要はありません。

*Bose® Link OUT による別室への音声配信に対応しているシステムのみ(日本仕様非対応)。

ナビゲーションコントロール部

注記：ナビゲーションコントロール部、再生コントロール部の使い方の詳細については、10 ページの「外部機器の操作について」以降をご参照ください。

再生コントロール部

ディスプレイ(235/135 および V35/V25 system のみ)

操作およびシステムの状態に関する情報が表示されます。

表示例：

接続機器に関する情報

音量

ラジオチューナー

iPod

iPod
アルバム

操作メッセージ

数字キーを長押しして
プリセットを設定

バックライトボタン

リモコンの裏側にあるバックライトボタンを押すと、リモコンのボタンが点灯します(235/135 および V35/V25 system 用リモコンでは、ディスプレイも明るく表示されます)。ボタンを離してしばらくすると、バックライトは省電力のため自動的に消灯します。

バックライトボタン

ディスプレイの明るさを調整するには：

注記：AM または FM ラジオを選択している場合は、調整を行う前に他の入力ソースに切り替えてください。そのまま操作を行うと、ラジオのプリセット局を誤って消去してしまう可能性があります。

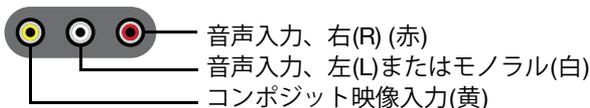
1. バックライトボタンを押しながら、同時に [OK] ボタンを 5 秒間押し続け、設定モードに入ります。
2. 上下のナビゲーションボタンを押して、[Brightness] (明るさ)または [Contrast] (コントラスト)を選択します。
3. 左右のナビゲーションボタンを押して、明るさまたはコントラストを調整します。
4. [OK] ボタンまたはバックライトボタンを押すと、通常の操作に戻ります。

コンソール

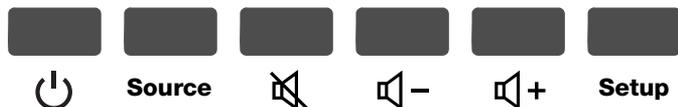
① 電源インジケーター

- 赤..............................システムはオフ (スタンバイ) の状態です。スタンバイ状態から電源を入れると、システムが起動するまでに数秒～十数秒間の時間を要します。
- 緑の点滅................システムは起動中です。
- 緑..............................システムはオンの状態です。
- オレンジ................システムはオフの状態です。iPod/iPhone を接続している場合は、充電中です (135/235 および V35/V25 system のみ)。この状態から電源を入れると、システムは数秒間で起動します

② 前面アナログ AV 入力

ビデオカメラなどの AV 機器を接続できます。

③ ヘッドホン出力

3.5 mm ステレオミニプラグ付ヘッドホンを接続できます。音量は音量上/下ボタンで調整します。

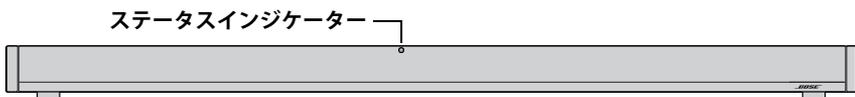
④ 操作ボタン

電源オン／オフ　外部機器の選択　ミュート/ミュート解除　音量下　音量上　UNIFY®メニュー(22 ページ)

⑤ 前面 USB 入力

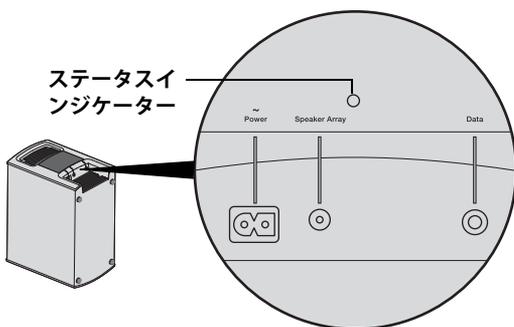
USB ドライブに保存された写真ファイルを表示するときに使用します。また、システムソフトウェアを更新する際にも使用します。

⑥ 前面 HDMI™ 入力

ビデオカメラなどの HDMI 機器を接続できます。

スピーカーアレイ(135 system のみ)

ステータスインジケーター：

切	スピーカーアレイと Acoustimass® モジュールが接続されています
オレンジの遅い点滅	スピーカーアレイがワイヤレス接続を行える状態にあります
オレンジの速い点滅	スピーカーアレイが切断されていて、接続を試みています
赤の点灯	システムエラーが発生しました

Acoustimass® モジュール(135 system のみ)

ステータスインジケーター：

オレンジの点灯	スピーカーアレイと Acoustimass® モジュールが接続されています
オレンジの 3 秒間隔の点滅	Acoustimass® モジュールがスピーカーアレイから切断されています (またはアレイがオフになっていて、Acoustimass® モジュールがスタンバイしています)
オレンジの遅い点滅	Acoustimass® モジュールがワイヤレス接続を行える状態にあります
赤の点灯	システムエラーが発生しました

システムを起動する

リモコンまたはコンソールの電源ボタンを押します。

数秒後にコンソールの電源インジケーターの点滅が緑の点灯に変わり、システムが使用可能な状態になります。

以下の方法でシステムを起動することもできます。

リモコンの [SOURCE] ボタンを押してシステムを起動することもできます。その場合、テレビ画面に [SOURCE] リストが表示されます。

Setup コンソールの [Setup] ボタンを押してシステムを起動することもできます。その場合、テレビ画面に UNIFY® メニューが表示されます。

テレビの電源を入れる

既にセットアップ手順に沿ってリモコンの設定が完了している場合、リモコンの [TV 電源] ボタンを押すと、テレビの電源がオンになります。設定が完了していない場合は、テレビのリモコンを使用してください。

システムを終了する

リモコンまたはコンソールの電源ボタンを押すと、システムは数秒後に自動的に終了します。

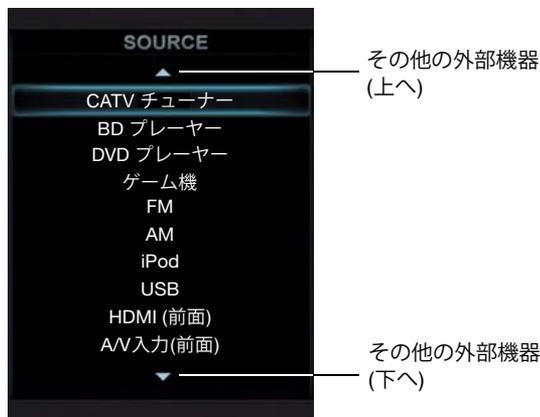
[OPTIONS] メニューの設定により、接続された外部機器の電源操作を Bose® リモコンで行うことも可能となります。この場合、システムは自動終了せず、画面に表示される「電源メニュー」で外部機器やコンソールの電源切操作を行います。

外部機器の操作について

外部機器を選択する

外部機器の選択は、[SOURCE] リストから行います。[SOURCE] リストに表示される機器が 10 以上ある場合(システムに 10 以上の機器が接続されている場合)、リストの上下どちらかに矢印が表示されます。

1. リモコンの [SOURCE] ボタンを押し、コンソールに接続されている外部機器のリストをテレビ画面上に表示させせます。

   リストに表示されていない機器がある場合、リストの上下どちらかに矢印が表示されます。

2. [SOURCE] ボタンを押し続けると、ハイライト部分がリストの下に移動します。選択する機器に合わせてください。
   - ナビゲーションコントロール部の上(▲)または下(▼)ボタンを押して、機器の選択を移動することもできます。
   - 既にセットアップ手順に沿って機器に名前を付けている場合は、割り当てた名前がリストに表示されます。名前が付いていない機器は、[入力 1 (HDMI)]、[入力 2 (HDMI)] のように表示されます。
   - 電源が入っていない外部機器を選択すると、機器の電源を確認するように指示するメッセージが画面に表示されます。

注記：iPod などのオーディオ機器を選択すると、画面の焼き付き防止のため、自動的にスクリーンセーバーモードに移行します。Bose® リモコンのボタンをどれか押すと、画面表示が元に戻ります。

スクリーンセーバーを無効にする方法は、18 ページの「システムオプションを変更する」を参照してください。

UNIFY® テクノロジーは、Bose® リモコンで各外部機器を操作できるように、システムを設定する事ができます。

Bose リモコンで操作できない機器がある場合は、24 ページの「故障かな？と思ったら」を参照してください。

テレビを見る

テレビ番組を見るには、①テレビチューナー内蔵の外部機器(CATV 等のセットトップボックス、地デジチューナー内蔵 HDD レコーダーなど)を使用する方法と、②テレビ本体に内蔵されたチューナーを使用する方法の 2 つがあります。

注記：テレビの操作を付属の Bose® リモコンで行う場合は、リモコンをテレビのリモコン受光部に向けて操作してください。テレビのリモコン受光部については、テレビの取扱説明書をご参照ください。

テレビチューナー内蔵の外部機器を使用する

セットトップボックスや HDD レコーダーなどを使用する場合、その機器はセットアップ時に割り当てた名前で [SOURCE] リストに表示されます。

1. リモコンの [SOURCE] ボタンを押して、テレビ番組を受信する機器を選択します。
2. その機器の受信チャンネルを合わせます。下の「テレビのチャンネルを切り替える」を参照してください。

テレビ本体に内蔵されたチューナーを使用する

テレビ内蔵のチューナーを使用して番組を見るには、次の操作を行います。

1. リモコンの [SOURCE] ボタンを押して、[テレビ] を選択します。
2. [TV INPUT] ボタンを何回か押して、テレビの内蔵チューナーを選択します。
3. テレビ自身の受信チャンネルを合わせます。下の「テレビのチャンネルを切り替える」を参照してください。

テレビ本体の映像から外部機器の映像に切り替えるには、まず [TV INPUT] ボタンを押してテレビ入力をコンソールに切り替え、続いて [SOURCE] ボタンを押して対象の外部機器を選択します。

テレビのチャンネルを切り替える

テレビのチャンネルは、次のいずれかの方法で切り替えられます。

数字キーでチャンネル番号を直接入力します。

チャンネル上／下ボタンの上(▲)または下(▼)ボタンを使用して、チャンネルを変更します。

[GUIDE] ボタンを押します。ナビゲーションボタンとページ送りボタンを使用し、[OK] ボタンを押して番組表からチャンネルを選択します。

AV 機器を操作する

既に UNIFY® システムに従って CD、DVD、DVR、または Blu-ray Disc™プレーヤーなどの AV 機器を接続してある場合、これらの機器は通常入力 1〜5 に接続されています。

Bose® リモコンで機器を操作できるように設定している場合、次のボタンで選択した機器を操作できます。

ボタン	機能
MENU	機器のメニュー(該当する場合)またはシステムセットアップメニューの表示
GUIDE	Blu-ray Disc プレーヤーのメニューの表示、番組表の表示など
INFO	機器に関する情報の表示
EXIT	メニューの終了
▲	上の項目へ移動
▼	下の項目へ移動
◀	左へ移動
▶	右へ移動
OK	項目の選択
⧍	次のページ、チャンネル、ディスクへ移動
⧊	前のページ、チャンネル、ディスクへ移動
▶	再生
❚❚	一時停止
■	停止
●	録画
▶▶	早送り/早送りサーチ
◀◀	巻き戻し/巻き戻しサーチ
▶❙	スキップ/チャプター送り
❙◀	リプレイ/チャプター戻し
⇆	シャッフルモード

Bose Link 入力機器を再生する

本機能は日本では使用しません。[SOURCE] リストに [Bose Link] は表示されません。

iPod や iPhone の音楽を再生する (235/135、V35/V25 system のみ)

LIFESTYLE® system では、iPod または iPhone の音楽と動画を再生できます。

必ず、iPod または iPhone を先にドックに接続してからソース選択してください。接続されていない場合、iPod/iPhoneは [SOURCE] リスト上に表示されません。

次の例のように、iPod または iPhone メニューとプレイリストが画面の左側に表示され、再生中のトラックが右側に表示されます。

注記：対応している iPod および iPhone の機種については、iv ページを参照してください。

次のボタンで接続した iPod/iPhone を操作できます。

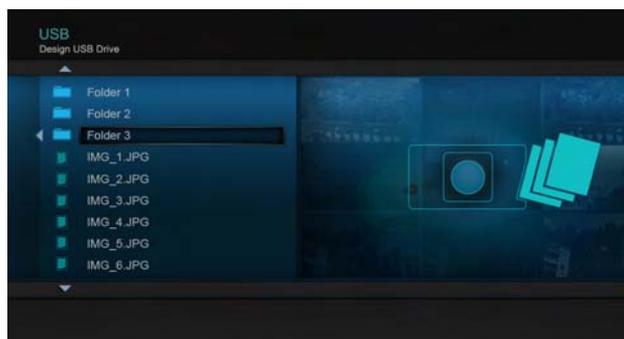
ボタン	機能
MENU	上位メニューへ移動(長押しするとトップメニューへ移動) (ビデオ再生中は一時停止してメニューを表示)
⩓	上のページへ移動
⩔	下のページへ移動
▲	上のメニュー項目へ移動(長押しでスクロール)
▼	下のメニュー項目へ移動(長押しでスクロール)
◀	上位メニューへ移動(ビデオ再生中は、一時停止してメニューを表示)
▶	下位メニューへ移動
OK	下位メニューへ移動
▶	再生
❚❚	一時停止
■	停止
▶❘	次のトラックまたはオーディオブックマークへ移動
❘◀	前のトラックまたはオーディオブックマークへ移動
▶▶	早送り
◀◀	早戻し
⇄	シャッフルオン／オフ

コンソールの前面入力を使用する

コンソールの前面には、アナログ音声/映像入力、USB、HDMI™ 入力があり、機器を接続している場合にのみ、[SOURCE] リストに [A/V (前面)]、[USB]、[HDMI (前面)] と表示されます。これらの入力には、デジタルカメラやビデオカメラなどを必要に応じて接続いただけます。

前面 USB 入力

LIFESTYLE® system では、USB ドライブに保存された写真ファイル(.jpg または.jpeg 形式のみ)をスライドショー(自動送り)で表示できます。

[USB] を選択すると、画面左側に上からフォルダーが表示され、フォルダーの下に画像ファイルの一覧が表示されます。フォルダーを選択すると、保存されている写真が表示されます。

写真を表示する場合は、次の操作ボタンを使用できます。

	▲	上のメニュー項目へ移動(長押しでスクロール)
	▼	下のメニュー項目へ移動(長押しでスクロール)
	◀	上位フォルダーへ移動、またはスライドショーを終了してフォルダー表示へ戻る
	MENU	上位フォルダーへ移動、またはスライドショーを終了してフォルダー表示へ戻る
	▶	下位フォルダーへ移動
	OK	フォルダーを選択している場合は下位フォルダーへ移動、 写真ファイルを選択している場合はスライドショーを表示
	⧋	9 つ前のファイルへ移動
	⧩	9 つ後のファイルへ移動
	EXIT	スライドショーを終了してフォルダー表示へ戻る
	▶	選択したフォルダーのスライドショーを表示
	❚❚	スライドショーを一時停止
	■	スライドショーを終了してフォルダー表示へ戻る
	▶❙	次の画像を表示
	❙◀	前の画像を表示

前面アナログ音声/映像(A/V)入力

この入力には、コンポジット映像出力とアナログ音声出力(左右)を備えた機器を接続できます。この入力に接続した機器を Bose® リモコンで操作することはできません。機器の操作ボタンを使用するか、機器に付属のリモコンを使用してください。

前面 HDMI™入力

この入力には、HDMI 出力を備えた機器を接続できます。この入力に接続した機器を Bose リモコンで操作することはできません。機器の操作ボタンを使用するか、機器に付属のリモコンを使用してください。

画面サイズを変更する

画面サイズボタンを押すと、画面サイズを選択するメニューが表示されます。このボタンを続けて押して、選択する画面サイズをハイライト表示します。

サイズを選択すると、画面はすぐに切り替わります。

	標準	映像のサイズを変更せずに表示します。
	オートワイド	映像を切り取らずに幅いっぱいに表示します。
	ストレッチ 1	映像を中央から均等に引き伸ばします。
	ストレッチ 2	映像の中央はそのままにして、端に近いほど拡大率が高くなるように映像を引き伸ばします。
	ズーム	映像を拡大します(上下のナビゲーションボタンを押すと、画面が上下に移動します)。
	グレイバー	標準サイズ(4:3)の映像の左右に灰色の縦帯を付加して表示します。

注記：3D 映像をご覧の場合、画面サイズボタンを押しても画面サイズの選択メニューは表示されません。これは、3D 映像の画角は変更することができないためです。

ラジオを聴く (235/135/V35/V25 のみ)

ラジオを選択する

1. [SOURCE] ボタンを押します。
2. [SOURCE] ボタンを続けて押して、[SOURCE] リストから [FM] または [AM] を選択します。

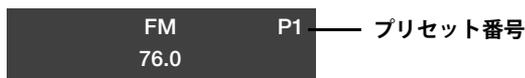
放送局を選局する

- ▶| (高)ボタンまたは|◀ (低)ボタンを押して、周波数を上下に移動します。
  または
- ▶▶ (次を探す) ボタンまたは◀◀ (前を探す) ボタンを押して、前後の周波数で電波の強い局を探します。

放送局をプリセットに登録する

内蔵ラジオチューナーには、FM 25 局と AM 25 局をプリセット局として登録できます。

1. 放送局を選局します。
2. プリセット 1〜9 に登録する場合は、登録したい番号の数字キーを長押しします。プリセット 10〜25 については、[OK] ボタンを長押しすることにより、空いているプリセット番号に順に登録されます。

FM P1
76.0

プリセット番号

プリセット局を呼び出す

チャンネル上／下ボタン▲または▼を押して、プリセットを前後に移動します。

プリセット 1〜9 をすばやく呼び出すには、プリセット番号を数字キーで押します。

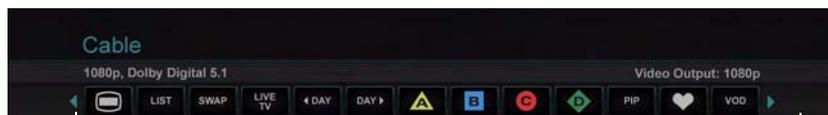
プリセット局を削除する

1. 削除するプリセット局を呼び出します。
2. プリセット番号がリモコンのディスプレイから消えるまで、[OK] ボタンを長押しします。

ラジオチューナーのその他の設定

1. [MORE] ボタンを押して [OPTIONS] を選択します。
2. メニューの次の中からオプションを選択します(詳細は19 ページの「[OPTIONS] メニュー」を参照)。
   - 現在の放送局 : ステレオのオン/オフを選択
   - RDS: 本機能は日本では使用しません。

[MORE] ボタン

[MORE] ボタンを押すと、テレビ画面の上部に、現在選択されている外部機器に関する機能ボタンが表示されます。表示される機能は、選択した機器によって異なります。[MORE] ボタンで表示される機能が 13 以上ある場合、メニューの左右どちらかに矢印が表示され、画面に表示されていないその他の機能があることが示されます。次の表示は、テレビ画面に表示された機能ボタンの例です。

その他の機能ボタン(左)　その他の機能ボタン(右)

[MORE] ボタンの機能を有効にする

1. リモコンの [MORE] ボタンを押します。

2. ナビゲーションボタンの左(◀)および右(▶)を使用して、選択する機能ボタンをハイライト表示します。

リストの左右に矢印が表示されている場合は、左(◀)または右(▶)ボタンを押し続けると、その他の機能ボタンがスクロール表示されます。

3. リモコンの [OK] ボタンを押します。

機能ボタンについての説明

[電源] 機器の電源をオン/オフします。

[お気に入り] お気に入りチャンネルのリストを表示します。

[文字多重放送] 文字多重放送機能のオン/オフを切り替えます。

[インターネット] インターネット機能のオン/オフを切り替えます。

[次の日] 番組表のページを次の日に移動します。

[前の日] 番組表のページを前の日に移動します。

[録画リスト] 録画した番組のプレイリストを表示します。

[PIP] 二画面モードのオン/オフを切り替えます。

[VOD] ビデオオンデマンドを選択します。

[LIVE TV] テレビを放送中の番組に切り替えます。

[操作切替] DVD 付きビデオデッキの DVD⇔ビデオ間の切替など、複合機の操作対象メディアの切替を行います。

[HOME] 機器の「ホーム」画面に移動します。

[リピート] 選択している機器のリピート機能を選択します。

[SWAP] マルチチューナー内蔵機器のチューナーを切り替えます。

[TV/ラジオ切替] テレビとラジオを選択できるセットトップボックスにおいて、切替を行います。

マルチチューナー内蔵機器のチューナーを切り替えます(BS/CS/地デジなど)。

ボタン機能についての説明(続き)

3 桁のチャンネル番号を入力します。-
(日本のみ)

[OPTIONS] オプションメニューを表示します。下の「システムオプションを変更する」をご覧ください。

Blu-ray Disc™プレーヤー、セットトップボックスなどの赤、緑、黄、青の各ボタン機能を実行します。

セットトップボックスのシステムメニューを表示します。

Blu-ray Disc™ プレーヤーのトップメニュー(またはタイトルメニュー)を表示します。

番組表の双方向操作機能 A、B、C、D を実行します。

Xbox® の機能を実行します。

デジタルテレビなどのデータ放送画面を表示します。
(日本のみ)

PlayStation® の機能を実行します。

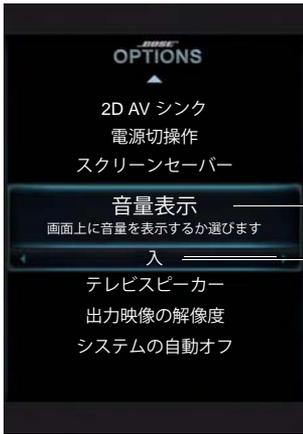
別の種類のビデオ放送を選択します。
(欧州のみ)

TiVo® プログラムなどのコンテンツに評価を付けます。

Blu-ray Disc™ プレーヤーやケーブルテレビのセットトップボックスなどの「設定」機能を実行します。

システムオプションを変更する

[OPTIONS] メニューに表示される項目数は、選択されている機器によって異なります。

1. リモコンの [MORE] ボタンを押します。
2. ナビゲーションの左右(◀ ▶)ボタンを使用して、[OPTIONS] をハイライト表示します。
3. リモコンの [OK] ボタンを押すと、現在の機器の [OPTIONS] メニューが表示されます。
   次の表示は映像機器の例です。

4. ナビゲーションの上下(▲▼) ボタンを使用して、変更するオプションをハイライト表示します。
5. ナビゲーションの左右(◀ ▶)ボタンを使用して、設定を選択します。
6. 選択の完了後、リモコンの [EXIT] を押して終了します。

[OPTIONS] メニュー

太字の項目は出荷時設定です。

オプション	選択可能な設定
ソース音声 (235 または 135 system では選択不可)	オリジナル ....機器からステレオ音声を受信している場合は、ステレオ音声を再生します **モード 1(推奨)** ....外部機器から入力される音声・映像に最適なアルゴリズムを用いて、5ch 音声を再生します モード 2 ....モード 1 と異なる仕様のアルゴリズムを用いて、5ch 音声を再生します エンハンスト モノ .....機器からモノラル音声を受信している場合に、ボーズ独自の音声処理技術で再現したサラウンド音声を再生します
現在の放送局 (T20 または T10 system では選択不可)	**ステレオ 入** ....現在の FM ラジオ局の音声をステレオで再生します ステレオ 切 ....現在の FM ラジオ局の音声をモノラルに切り替えます (電波の弱い放送局が聴きやすくなります)
RDS (T20 または T10 system では選択不可)	**入** ....本機能は日本では使用しません 切 ....本機能は日本では使用しません
ゲームモード	入 ....ゲーム機用にビデオパフォーマンスを改善し、遅延を抑えます **切** ....標準のビデオパフォーマンスに設定します

[MORE] ボタンとシステムオプション

オプション	選択可能な設定
音声モード	切....................................音声モードの調整を行いません **台詞の強調**...................映画の台詞をより聞こえやすくします スマートボリューム...映画の中で音が非常に大きなシーンと静かなシーンの音量差が少なくなるように、自動的に調整します(深夜など、音量設定を小さくした状態で映画鑑賞をしたい場合に便利です)
二重音声	**主音声** ....1+1(デュアルモノ)音声チャンネルのうち、主音声を選びます 副音声 ....1+1(デュアルモノ)音声チャンネルのうち、副音声を選びます 主＋副............................主音声/副音声が同時に聞こえます 二重音声なし..............二重音声を受信していない場合に自動で選択されます
音量レベル	選択したソースの音量を他のソースよりも高く設定します(**0**～10)
ソースオーバースキャン (2D のみ)	入 ....現在のソース映像に対して、オーバースキャン補正(映像を全体的に拡大し、映像周辺部を画面に表さない)を適用します **切** ....オーバースキャン補正を適用しません 3D 機器を再生している場合、オーバースキャンの項目には「Not Available」(使用できません)と表示されます。
低音部補正	低音部のレベル調整を行います： –9～**標準**～+6 (ADAPTiQ® による補正後) –14～**標準**～+14 (ADAPTiQ による補正なし)
高音部補正	高音部のレベル調整を行います： –9～**標準**～+6 (ADAPTiQ® による補正後) –14～**標準**～+14 (ADAPTiQ による補正なし)
2D A/V シンク (2D のみ)	音声の聞こえるタイミングを調整し、2D 映像の動きと音声を合わせます –2～**標準**～+5
3D (3D のみ)	使用している 3D メガネに合わせて 3D フォーマットを設定します **自動** ....適切な 3D フォーマットを自動で設定します サイドバイサイド..............サイドバイサイドフォーマットを選択します トップアンドボトム ....トップアンドボトムフォーマットを選択します
3D A/V シンク (3D のみ)	音声の聞こえるタイミングを調整し、3D 映像の動きと音声を合わせます –2～**標準**～+10
電源切操作	**標準**..電源ボタンを押すと、[Bose システムの電源を切っています] の画面を表示します 接続機器電源メニュー.......直接周辺機器の電源を切るための一覧表を表示します
スクリーンセーバー	**入** ....音声のみのソースを再生しているときに、操作をせずに 20 分経過すると、スクリーンセーバーを表示します 切 ....スクリーンセーバーを無効にします
リアスピーカー (235 または 135 system では選択不可)	リアスピーカーの音量バランスを、フロントスピーカーとの対比で調整します(–10～**標準**～+6) [スピーカーモード] オプションが [ステレオ(2)] または [フロント(3)] に設定されている場合、この設定はできません

オプション	選択可能な設定
センタースピーカー (235 または 135 system では選択不可)	フロントセンタースピーカーの音量バランスを、他のスピーカーとの対比で調整します(-8～**標準**～+8) [スピーカーモード] オプションが [ステレオ(2)] に設定されている場合、この設定はできません
スピーカーモード (235 または 135 system では選択不可)	ステレオ (2) ....フロントスピーカーの 左、右 のみを有効にします フロント (3) ....フロントスピーカーの 左、右、センターのみを有効にします **サラウンド (5)** ....フロントスピーカーとリアスピーカーを全て有効にします
音量表示	**入** ....音量レベル表示と消音表示をテレビ画面に表示します 切 ....音量レベル表示と消音表示を画面に表示しません
テレビスピーカー	入 ....HDMI™ 音声出力をテレビへ送ります(コンソールにヘッドホンを接続したり、本機のリモコンの消音ボタンや音量ボタンを操作しても、テレビスピーカーからの音量は変わりません) **切** ....HDMI 音声出力を LIFESTYLE® system のスピーカーへ送ります
出力映像の解像度 (2D のみ)	テレビに送る映像信号の解像度 (標準映像 /720p/1080i/1080p) を選択します (接続されたテレビで対応している設定のみがオプションとして表示されます) 3D 機器を再生している場合、映像の解像度は常に接続されている 3D 機器が出力した解像度と同じになります。出力映像の解像度には、自動的に設定された解像度が表示されます。3D 機器を再生している間は解像度を変更できません。
システムの自動オフ	**有効** ....リモコンボタンの操作が 4 時間以上行われない場合、システムの電源を自動的にオフにします 無効.................................システムの電源を自動的にオフにしません **注記：**ビデオ機器から音声または映像が 15 分間再生されない場合、またはオーディオ機器から音声が 15 分間再生されない場合、システムの電源は自動的にオフになります。これらの場合は、自動オフ機能を無効にしてもシステムの電源がオフになります。

UNIFY® システムの概要

UNIFY® テクノロジーは、画面上の指示を通してシステムのセットアップと設定の手順をご案内します。ケーブルと入力端子を正しく選択し、接続した機器を使用できるように Bose® リモコンをプログラムするための便利な機能です。

セットアップの終了後は、いつでも UNIFY® システムを使用して設定の変更を行えます。

UNIFY® メニューについて

UNIFY® メニューをテレビ画面に表示するには、コンソール前面の [Setup] ボタンを押します。リモコンのナビゲーションボタンを使用して機能を選択し、画面に表示される指示に従います。

メニュー項目	可能な操作
初期設定を再開	初期設定を完了していない場合に、UNIFY® システムで最後に行った操作に戻ります。
初期設定を 最初からやり直し	初期設定を完了していない場合に、UNIFY® システムの操作を最初からやり直します。
Acoustimass® モジュールへ再接続 (135 system のみ)	画面の指示に従って、スピーカーアレイを Acoustimass® モジュールに再接続します。
言語	画面表示の言語を選択します。
ADAPTiQ®	ADAPTiQ による音場補正を開始します。ADAPTiQ による補正を行った後でこのメニュー項目を選択すると、ADAPTiQ による補正の有効／無効を切り替えます。
テレビの設定	コンソールにテレビが接続されている場合に、以下の操作を行えます。 • Bose® リモコンでテレビを操作できるように設定します。 • リモコンの赤外線(IR)コードを手動で入力します。 • テレビの入れ替えをサポートします。 • テレビの音声接続の追加、変更、または取り外しをサポートします。
外部機器の設定	コンソールの入力 1～5 に機器が接続されている場合に、以下の操作を行えます。 • 機器の表示名を変更します。 • 本機のリモコンで機器を操作できるように設定し、IR (赤外線) エミッターを追加します。 • リモコンの赤外線(IR)コードを手動で入力します。 • 機器の設定を削除します。 • 接続されている音声/映像ソースの種類を追加/変更します。
新たな機器の追加	初期設定の完了後に、別の機器またはアクセサリーをシステムに追加することができます。
ホームワイド	本機能は日本では使用しません。
アップデート	システムソフトウェアを更新します (詳細は 26 ページの「システムのアップデートを実行する」を参照)。
学習モード	学習型リモコンを設定するために、赤外線(IR)コードを送信します。
UNIFY® の終了	UNIFY® メニューを終了して、最後に選択していた機器の画面に戻ります。

別の部屋でサウンドを楽しむ(日本仕様非対応) (235/135/V35/V25 のみ)

※本機能は日本では使用しません。

故障かな？と思ったら

トラブル	対処方法
Bose® リモコンを初めて使用したとき、システムが応答しない	• コンソールの電源が入っていることを確認してください。 • リモコンに電池が入っていることを確認して、必要に応じて新しい電池に交換してください。(27 ページの「電池を交換する」を参照)。 • システムをリセットしてください。26　ページの「システムをリセットする」をご覧ください。 • リモコンのいずれかのボタンを押して、コンソールの電源インジケーターを確認します。ボタンを押すたびにインジケーターが点滅します。点滅しない場合は、26 ページの「リモコンとコンソールをペアリングする」を参照して手順に従ってください。
初期設定で接続した機器を Bose リモコンで操作できない	• 機器を再セットアップしてください。コンソールの [Setup] ボタンを押し、接続した機器の設定(リモコンの設定)を選択して、画面に表示される手順に従って機器を再セットアップします。 • システムソフトウェアのアップデートが必要な場合があります。26　ページの「システムのアップデートを実行する」をご覧ください。
最適なインターフェイスで映像機器を接続したい	• 映像の接続を変更するには、コンソールの [Setup] ボタンを押して、その機器の設定オプション(接続の変更)を選択し、画面に表示される手順に従ってください。
システムがまったく動作しない	• 電源コードが電源アダプターに正しく接続されていることを確認してください。 • Acoustimass®　モジュールと電源アダプターが、壁のコンセントに正しく接続されていることを確認してください。 • (135 system のみ)スピーカーアレイの電源コードが壁のコンセントに正しく接続されていることを確認してください。 • [SOURCE] リストから接続機器を選択してください。 • システムをリセットしてください。26　ページの「システムをリセットする」をご覧ください。
音が出ない	• Acoustimass®　モジュールの電源コードが壁のコンセントに正しく接続されていることを確認してください。 • (135 system のみ)スピーカーアレイの電源コードが壁のコンセントに正しく接続されていることを確認してください。 • 音量を上げてください。 • ミュートボタン( )を押して、システムが消音状態でないことを確認してください。 • コンソールの入力接続をチェックし、機器を正しく選択していることを確認してください。 • コンソールの [Audio Out] 端子(Bose® Link 端子ではない)に音声入力ケーブルがしっかりと接続され、ケーブルの反対側が Acoustimass® モジュールの [Media Center] 端子にしっかりと接続されていることを確認してください。 • (135 system のみ)コンソールの [Audio Out] 端子(Bose® Link 端子ではない)に音声入力ケーブルがしっかりと接続され、ケーブルの反対側がスピーカーアレイの [Console] 端子にしっかりと接続されていることを確認してください。 • (135 system のみ)コンピューター用ワイヤレスネットワークルーター、その他のワイヤレス装置、電子レンジなど、ワイヤレス信号に干渉する可能性のある機器類を全てシステムから離れたところに移動してください。 • ラジオを聴く場合は、FM 用と AM 用のアンテナを接続してください。 • システムをリセットしてください。26　ページの「システムをリセットする」をご覧ください。
音質が変化し、スピーカーアレイのステータスインジケーたーがオレンジで点滅している(135 system のみ)	• コンソールの [Setup] ボタンを押して、[Reconnect Acoustimass(ベースモジュールへ再接続)] メニュー項目を選択します。画面に表示される手順に従ってください。
リモコンでテレビを操作できない(135 system のみ)	• テレビの赤外線 (IR) 受光部がスピーカーアレイに隠れていないことを確認してください。テレビとスピーカーアレイの位置を変えて、赤外線(IR) 受光部が遮られないようにします。 • テレビの赤外線(IR)受光部の位置については、テレビの取扱説明書をご覧ください。

トラブル	対処方法
低音が途切れる (135 system のみ)	• Acoustimass® モジュールのステータスインジケーターがオレンジに点灯していて、点滅していないことを確認してください。 • スピーカーアレイのステータスインジケーターがオレンジに点滅する場合 : 　• Acoustimass® モジュールの電源コードが壁のコンセントに正しく接続されており、ステータスインジケーターがオレンジに点灯していることを確認してください。 　• コンソールの [Setup] ボタンを押して、[Reconnect Acoustimass(ベースモジュールへ再接続)] メニュー項目を選択します。画面に表示される手順に従ってください。 　• コンピューター用ワイヤレスネットワークルーター、その他のワイヤレス装置、電子レンジなど、ワイヤレス信号に干渉する可能性のある機器類を全てシステムから離れたところに移動してください。
静電気などが原因でブーンという大きな雑音やノイズが入る	• 他の電気製品などから電気的な干渉が発生していないか、ご確認ください。
ラジオが動作しない (T20/T10 system を除く)	• アンテナが正しく接続されていることを確認してください。 • AM アンテナをコンソールと Acoustimass® モジュールから 50 cm 以上離してください。 • 受信状況が改善されるように、アンテナの位置を調整してください。 • AM アンテナが垂直に立っていることを確認してください。 • コンソール、テレビ、その他の電気製品からアンテナを離してください。 • 別の放送局の受信をお試しください。地域によっては、一部の放送局の受信状態が良くない場合があります。
FM ラジオの音声が歪む (T20/T10 system を除く)	• 電波干渉が少なくなるように、アンテナの位置を調整してください。 • FM アンテナをいっぱいまで伸ばしてください。
3D 映像の視聴時に画像がぶれる	• アクティブ方式の 3D メガネをお使いの場合は、スイッチがオンになっていることを確認します。 • 3D 映像機器の設定を変えてみます。 • 問題が解決しない場合は、テレビの赤外線 (IR) 受光部がスピーカーアレイに隠れていないことを確認してください。テレビとスピーカーアレイの位置を変えて、赤外線(IR)受光部が遮られないようにします。 • テレビの赤外線 (IR) 受光部の位置については、テレビの取扱説明書をご覧ください。
音声が歪む	• 音声入力ケーブルに傷などがなく、両端がしっかりと接続されていることを確認してください。 • コンソールに接続されている外部機器の音量を下げてください。 • (135 systems のみ)スピーカーアレイの外装とグリル､および Acoustimass® モジュールの前面から、保護フィルムを剥がしてください。
接続された機器からの音が出ない	• 接続を確認してください。 • 音声入力用に同軸デジタルケーブルと光デジタルケーブルを使用している場合、コンソールの同じ入力部に 2 本を同時に接続していないか確認してください。 • 機器の電源が入っていることを確認してください。 • 機器に付属の取扱説明書を参照してください。
音声は聞こえるが、テレビ画面に映像が出ない	• テレビの映像入力の選択を確認し、正しい映像機器が選択されていることを確認してください。 • 映像ケーブルがしっかりと接続されていることを確認してください。
接続された機器をリモコンで正しく操作できない	• コンソールに付属の IR (赤外線)エミッターを接続してください。接続の方法については、コンソールの [Setup] ボタンを押して各ソース機器の設定オプション(リモコンの設定)を選択し、画面に表示される手順に従ってください。
同軸デジタル音声入力で音声が断続的に途切れる	• 同軸デジタル音声接続に使用しているケーブルをご確認ください。ケーブルの品質が音声に影響を与える場合があります。

システムをリセットする

1. コンソールの電源ボタンを、電源インジケーターが赤に変わるまでおよそ5秒間長押しします。

システムの電源がオフになると、コンソールの電源インジケーターが赤の点灯となります。電源ボタンから指を離します。

2. 再びコンソールの電源ボタンを押すと、システムが再起動します。電源インジケーターが緑に点滅し、使用可能になると緑に点灯します。

3. リセット後もシステムがリモコンに反応しない場合は、次項目の手順に従ってリモコンのペアリングを行います。

リモコンとコンソールをペアリングする

リモコンを交換した場合や、トラブルシューティングの際に、この手順を実行する必要があります。

1. システムの電源が入っていることを確認します。電源が入っていない場合は、コンソールの電源ボタンを押します。

2. リモコンを持ち、コンソールに近付けます。

3. コンソールのミュートボタン( )を押しながら、同時にリモコンの [OK] ボタンを 5 秒間押し続けます。ペアリングが完了すると、電源インジケーターが点滅します。

4. リモコンのいずれかのボタンを押すたびに、コンソールの電源インジケーターが点滅することを確認します。

システムのアップデートを実行する

インターネットに接続されているコンピュータを使用して、ボーズ社のサイトで公開されているアップデートファイルを、システムに付属の USB ドライブにダウンロードします。

1. コンソール前面の [Setup] ボタンを押して、Unify® メニューを表示します。

2. リモコンのナビゲーションパッドを使用して、[アップデート] を選択します。

3. 画面に表示される手順に従います。

注記：Bose リモコンのソフトウェア更新を確実に行うために、アップデートの間リモコンをコンソールの前面そばに置いてください。

お問い合わせ先

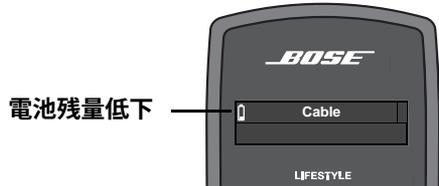
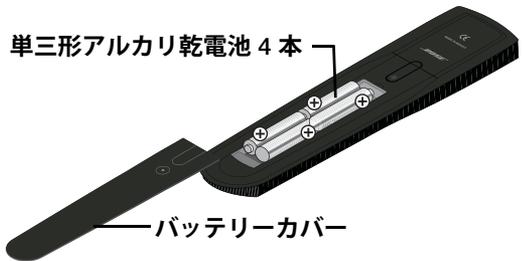
故障および修理のお問い合わせ先

ボーズ株式会社　サービスセンター
お客様専用ナビダイヤル 0570−080−023
PHS、IP電話からは、Tel 03-5489-1124へおかけください。
〒206-0035 東京都多摩市唐木田1-53-9
唐木田センタービル

製品等のお問い合わせ先

ボーズ株式会社　ユーザーサポートセンター
お客様専用ナビダイヤル 0570−080−021
PHS、IP電話からは、Tel 03-5489-0955へおかけください。

電池を交換する

リモコンの使用範囲が著しく狭くなったり、反応が悪くなった場合、またはディスプレイ (235/135 および V35/V25 system のみ) の電池残量表示が低下している場合は、電池を 4 個とも交換します。

1. リモコンの裏側にあるバッテリーカバーをスライドして外します。
2. 使用済みの電池を取り外します。
3. 電池ケースに表示されている＋と－の向きと、乾電池の＋と－の向きを正しく合わせて、単三形アルカリ乾電池 4 本を入れます。
4. バッテリーカバーを元通りにスライドして閉じます。

お手入れについて

外装は柔らかい布でから拭きしてください。スピーカーグリルには弱いパワーで掃除機をかけてもかまいません。

- 溶剤、化学薬品、スプレーなどを使用しないでください。
- 開口部から液体や異物が入らないようにしてください。

保証

保証の内容および条件につきましては、付属の保証書をご覧ください。

仕様

リモコン

周波数 : 2.4 GHz
使用範囲 : 10 m

コンソール用電源アダプターの電源範囲

AC 入力 : 100V∿ 50/60 Hz、0.5A
DC 出力 : 12V ⎓ 20W (最大)

Acoustimass® モジュールの電源範囲 (LIFESTYLE® 135 system を除く)

AC 入力 : 100V∿ 50/60 Hz 350W

Acoustimass® モジュールの電源範囲(LIFESTYLE® 135 system のみ)

AC 入力 : 100V∿ 50/60Hz 150W

スピーカーアレイの電源範囲 (LIFESTYLE® 135 system のみ)

AC 入力 : 100V∿ 50/60Hz 60W

ワイヤレス接続 (LIFESTYLE® 135 system のみ)

使用範囲 : 20 ft (6.1 m)

Licensing information

This product contains one or more free or open source software programs originating from third parties and distributed as part of the STLinux software package. Visit www.stlinux.com/download for further details. This free and open source software is subject to the terms of the GNU General Public License, GNU Library/Lesser General Public License, or other different and/or additional copyright licenses, notices, and disclaimers. To understand your rights under these licenses, please refer to the specific terms of the licenses, notices, and disclaimers, which are provided to you in an electronic file, named "licenses.pdf," located within the product's control console. To read this file, you will need a computer with a USB port and a software program that can view .pdf files. To download "licenses.pdf" from your product's control console:

1. Press and hold the Setup button on the front of the control console to display the System Information screen.
2. Insert a USB drive (there should be one included in your system package) into the USB input on the front of the control console.
3. Press the OK button on the remote control to copy the file to the USB drive. This download process should be completed within 30 seconds. You may then remove the USB drive.
4. To read the file "licenses.pdf," plug the USB drive into a computer with a USB port, navigate to the USB root directory, and open "licenses.pdf" with a software program that can view .pdf files.

To receive a copy of the source code for the open source software programs included in this product, please mail your written request to: Licensing Manager, Mailstop 6A2, Bose Corporation, The Mountain, Framingham, MA 01701-9168. Bose Corporation will distribute such source code to you on a disc for a charge covering the cost of performing such distribution, such as the cost of media, shipping and handling. All of the above referenced licenses, notices, and disclaimers are reproduced and available with such source code. This offer is valid for a period of three (3) years following the date of distribution of this product by Bose Corporation.